

高須賀大杉ばやし

7月2日(日)、高須賀集会所付近の広場にて高須賀大杉ばやしが行われました。

高須賀大杉ばやしは、一昨年末で新型コロナウイルス感染症防止のため、中止していましたが、2022年から簡略化した形で再開し、今年2023年からは、郷土芸能クラブの児童の参加もあって、コロナ以前の大杉ばやしの風景が戻ってきたようです。

本来であれば、高須賀地区全戸を回りそれぞれお囃子を行います。今回は、簡略化し集会所付近にて、お囃子を演奏する形となりました。



当日は、保存会のみなさんをはじめ、地域の人や行幸小学校の郷土芸能クラブ所属の児童などたくさんの方が集まりました。

演奏直後はたどしだった児童の太鼓も、回を重ねるごとに堂々とした演奏へと変化していき、ベテランの保存会メンバーが奏でる音色にも負けない、聞きごたえのあるものとなりました。

笛・太鼓・鉦が奏でるお囃子に、夏を感じる一日となりました。

大杉ばやしの由来は、高須賀の集貝家の祖先が高須賀池に舟を浮かべて漁をしていると、大杉様の御神霊が舞い降りてきたため、祀るようになったと言われています。

現在は、高須賀の全戸が大杉ばやし保存会と御神輿保存会を組織して、祭礼の維持存続に努めています。

御神輿は、笛、大太鼓、小太鼓、鉦で構成され、「道中ばやし」「みだればやし」を演奏し、繁栄や悪疫退散、害虫駆除、風水害からの無事を祈願するものとなっています。

別名、あんばばやしとも言われており、毎年7月第1日曜日に行われています。



高須賀大杉ばやし
保存会顧問

田中義男さん

コロナ禍でまつりが開催できなかった期間はやはり、コミュニティが疎遠というか、会えない人もいました。でもこういう催しがあれば、普段は家で引きこもっている人も、大杉ばやしに出てくるんですよ。1年に1回でも会って一言話す。この大杉ばやしがそういうきっかけの場になればいいなと思います。

まつりをやめることは簡単だけど、1回やめちゃうともう絶対つきはない。だから、完全にできなくても、簡略化して細々でも続けていくことが自分たちの役目だと思っています。



高須賀地区区長

柳田正夫さん

今から25年前くらいに、当時の行幸小学校の校長から子どもたちに大杉ばやしのお囃子を教えてほしいという相談があった。そこから、週に1回年に20回程度教えに行くようになりました。そこから、行幸小の児童も来てくれるようになったので、まつりが賑やかになりましたね。

大杉ばやしは音符がないので見様見真似をして覚えていきます。後継者問題はありますが、地域と学校で連携しながら高須賀大杉ばやしをこれからも続けて行き、盛り上げてもらいたいですね。



郷土芸能保存会会長

南川和二さん

今年は子どもたちが来てくれたので、おまつりらしくなりました。ハッピをきているだけでも雰囲気です。

私は、行幸小学校の郷土芸能クラブにお囃子を教えるに行っていますが、みんな覚えがいい。去年もクラブにいた子もいますが、5月からはじめてまだ6回しか練習してないのに、中には本当に大人よりも上手な子もいます。

後継者問題について不安もありますが、これからも、郷土芸能クラブの指導を続け、担い手を育てていけるといいなと思います。



行幸小学校
郷土芸能クラブ

関回運叶さん

お父さんが太鼓をやっている、自分も太鼓をやってみたいと思って郷土芸能クラブに入りました。

学校で練習しているときと太鼓の置き方が違っているから、音の響きも違ってびっくりしました。緊張したけど、楽しかったので、また来年も演奏したいです。



第32回

埼玉葛人権を考えるつどい

～出会い ふれあい

思いやり～

人権の21世紀といわれる中で、埼玉葛市町の地域における人権問題に取り組むさまざまな団体が主体となり、行政とともに部落差別をはじめとしたあらゆる人権問題の早期解決に向けて、地域間の交流を通じて、地域住民の人権意識の高揚と正しい理解を図ることを目的に開催されます。この事業は「人権尊重社会をめざす県民運動」事業として実施するものです。

今年も、埼玉葛12市町の全児童・生徒が参加し、人権に思いを寄せたメッセージを形にした「未来に向けた人権メッセージ」や「10万羽の折鶴」を会場内に展示しています。平成23年度から毎年作成している「10万羽の折鶴」は、今年度で135万4202羽になります。

みなさんのご来場をお待ちしております。

日時 10月5日(木)

午前9時30分～午後4時

※受付時間は午前9時から。

場所 越谷コミュニティセンター

(越谷市南越谷1-2876-1)

内容

○歓迎行事／小学生、高校生、市民団体による南越谷阿波踊り

○大ホール／高校生による書道パフォーマンス、越谷アルファーズ

によるパフォーマンス、幼稚園児

による鼓笛演奏、市民団体による

よさこい創作ダンス、手話と声に

よる合唱、ジャズ演奏、ダンス、

小中学生による吹奏楽・合唱

○屋外ステージ／市民団体による健康体操、民謡・三味線、よさこい

ソーラン、南京玉すだれ

○展示など／福祉施設、特別支援学

校、埼玉葛12市町の人権に関する

展示、高校生の書道作品、ミニ新

幹線の運行

○販売／埼玉葛市町特産品、福祉施設

などの物品販売

入場料 無料

主催 人権啓発推進埼玉葛実行委員会

問合せ 幸手市役所(43)11111

人権推進課 内線162

社会教育課 内線642

